



成東高校同窓会報

第13号

2023.8.30

発行：成東九十九同窓会
印刷：(株)サラト

<https://cms2.chiba-c.ed.jp/narutou-h/>



ゾウの足 ～ 1986.4.26 チェルノブイリ原子力発電所事故による～
／作曲 林 大地 指揮 井野 克哉 (顧問 前列左から4人目)

令 和4年9月10日に茨城県水戸市で開催された東関東吹奏楽コンクールへ出場いたしました。当吹奏楽部の東関東大会出場は平成9年ぶりとなります。

東関東大会出場を目標に掲げていた私たちにとって、当日の演奏は幸福そのものでした。初めて訪れるホー

ルへの些かの不安や緊張を感じずにはいられませんでした。いざステージに立つと、何百回と見てきたメモで真っ黒になった楽譜や共に夏を過ごしてきた仲間の姿に安堵し、「私たちがらしさ」を魅せる最高の状態で演奏を始めることができました。そして多くの拍手に包まれ、夏のコンクールを終えました。ここまでの道程において、多くのご支援、ご協力をいただきました。感謝いたします。

私たちは、これからも成東高校の長い歴史に参加できる誇りと喜びを感じつつ、「私たちがらしさ」を磨き上げられるよう、日々邁進してまいります。

部長 浅野 あさの 楓葉 かえで (写真前列左)

私は東京農業大学に勤務しております。微細藻類の研究をしています。成吹での経験が今の仕事にも活かしています。研究というのは吹奏楽と相通ずるものがあります。例えば、皆で協力して一つの曲を仕上げる工程は、学生や共同研究者と研究をまとめることと似ています。今はわからなくても、部活動や勉学に励んだ経験は一生の宝物になるはず。何かに夢中で打ち込むことを諦めず、10代の一瞬一瞬を大事に過ごしてください。

母 校、成東高校吹奏楽部(成吹)の吹奏楽コンクール東関東大会出場は2022年の印象的な出来事でした。改めましておめでとうございました。前回(1997年)東関東大会に出場した成吹OBということで寄稿の機会をいただきました。



わたなべ さとる
渡辺 智 (高50回)
東京農業大学生命科学部
バイオサイエンス学科 准教授

笑顔で私たちがらしく。
たくさんの拍手に包まれた夏のコンクール。

パンデミックに思うこと

同窓会長からの
メッセージ



志賀 直温 (高19回)
同窓会長 4年目
趣味は木工などの
ものづくり系

成東九十九同窓会会長をお受けしてから四年目を迎えようとしています。着任して半年後には新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、卒業式や入学式等も縮小して行われるようになってしまいました。

同窓会の総会についても、議案を書面議決できる規約ではなかったため、感染防止に留意した必要最小限の会議を開催してそれを改正し、地域と職域の支部長への郵送による書面議決をお願いすることで、それ以後の総会を乗り切ってきました。

また二〇二〇年が創立百二十周年にあたるた

め、その記念行事についても検討をし、初めての試みであるインターネット上でのイベントとして、非常事態をテーマにしたシンポジウムを含む記念式典の録画ビデオを流して生徒にも見て貰い、併せて浮いた予算で生徒用の予備のタブレット等の授業に使える備品を揃えました。

およそ百年前にスペイン風邪の世界的な流行があり、当時の日本でも大勢が感染して亡くなっています。その流行期間が約三年間であったことを思う時、今回のパンデミックが今の流れのまま一日でも早く終息することを心から願うものです。

九十九同窓会

第117回 定期総会報告

例年、8月第一日曜日の午前10時に、百周年記念館で開催されていた総会は、コロナ禍のため、今年度も書面議決で実施されました。支部長を含めた各役員に総会資料が送付され、議事に関しては書面にて表決を諮り、承認されました。

内容は次の通りでした。

- 一 開会挨拶
二 同窓会会長挨拶
- 三 校長挨拶
四 議事
五 講演
篠崎 純 氏 (高32回)
演題 『いま、弁護士に求められるもの
〜30年の職務経験を踏まえて』
- 六 諸連絡
七 閉会挨拶



同窓会費の中の部活動激励費から、関東大会出場以上の部活動に横断幕を作成し、校舎に掲げました。

- (資料)
一 会務報告
令和三年
7月5日 同窓会会計監査
7月5日 同窓会役員会
8月1日 同窓会第二二六回
総会
- 令和四年
3月7日 同窓会入会式
3月8日 卒業式
7月4日 同窓会会計監査
7月4日 同窓会役員会

令和四年度 同窓会役員

顧問	清水 新次 (高15回)
会長	志賀 直温 (高19回)
副会長	金田 重興 (高15回)
副会長	眞壁 力 (高19回)
副会長	布留川 信行 (高20回)
副会長	海宝 弘和 (高25回)
副会長	伊藤 恵子 (高35回)
副会長	新村 浩章 (高32回)
幹事	里見 勇 (高16回)
幹事	長谷川 實 (高17回)
幹事	木嶋 由美 (高20回)
幹事	平山みさ子 (高20回)
幹事	清宮 清一 (高20回)
幹事	内藤 光雄 (高21回)
幹事	鈴木 正美 (高23回)
幹事	林 喜一 (高25回)
幹事	田井中善夫 (理1回)
幹事	上代 真澄 (高28回)
幹事	山本 重文 (高29回)
幹事	鈴木慶一郎 (高31回)
幹事	戸倉 富子 (高31回)
幹事	小林 弘明 (高36回)
監事	西川 泰雄 (高11回)
監事	小山 和典 (高30回)

まず私の略歴ですが、成東高校（担任として世界史の川島秀臣先生にお世話になりました）を卒業した後、私立大学の法学部を経て、昭和59年に大手損害保険会社に勤務しました。しかし、もろもろ考えるところがあり、保険会社を早々に退職し、地元九十九里町に戻って約3年間の司法試験の勉強の末に平成元年度の司法試験に合格しました。この年は、奇しくも成東高校が夏の甲子園に初出場した記念すべき年でもありました。

その後2年間の司法修習期間を経て、平成4年に千葉県弁護士会に弁護士登録をしました。その後は、少年の暴走族事件（この頃の九十九里浜沿いはバイクの格好の走り場でしたね）の弁護などの少年事件に多く携わったほ

か、この20年ぐらいは児童虐待など児童福祉に関わる問題にも取り組み、県内の各児童相談所の事案等も広く担当しています。昨今の児童虐待の増加には心が痛むところで、少しでも子どもの権利擁護が図られるように弁護士の役割を全うしていきたいと思っています。

子どもの権利擁護の分野以外では、以前勤務していた損保会社などの損保関連事件や家事関連事件等を数多く手掛けています。とくに交通事故分野の事件が多く、特殊団体等に属する難しい人物などの交渉事件からややこしい訴訟事件まで、幅広く対応しています。

このような感じで弁護士経験を積む中で、平成14年度から4年間は同弁護士会の子どもの権利委員会委員長の、



紙上記念講演

しのぎ 篠崎 じゅん 純 (高32回)

弁護士生活30年間の来た道と 今の法曹の世界

同20年度は同弁護士会の副会長を、そして、直近の令和4年度には同弁護士会の会長を務めました。所属弁護士が860名を超える大所帯（30年前にはわずか200人程度でした）の弁護士会で会長というトップを務めることができたことは、身に余る光栄であつた一方で、山積する会内外の解決すべき諸問題に直面するなど多忙を極め、聞きしに勝る激務であつたというのが正直な感想でした。何とか無事に任期を全うできた今は安堵しています。

さて、ここで今の法曹界の現状を少しだけ簡単にお話します。まず、司法試験制度の改革によって司法試験の合格者が増加し、比例して弁護士数も大きく増加した結果による弊害（仕事減、収入減）が指摘される一方で、法曹の魅力を手く発信できていな

いたためか昨今は法曹志望者の激減という看過できない問題も生じています。中高生など若い方々への様々な対応策を日弁連を挙げて実施しているところです。

次に、民事裁判の激変について付言しておきます。これまでの民事裁判は、どんなに遠くの裁判所でも実際に出向く必要がありました（片道1〜2時間かけて裁判所に移動し、5〜10分程度の裁判手続だけですぐに事務所にトンボ帰りするというのが常態でした）。ところが、3年ほど前からオンラインツールを使用したいわゆるウェブ裁判が実施されるようになり、現在では地方裁判所で双方当事人に代理人弁護士が就くほとんど裁判が、このウェブ裁判で実施されています。実際に裁判所に向かず事務所に居ながらにして裁判ができる

というのは非常に画期的で、大きな時間の節約になりました。また、裁判上の書面などのやり取りについても、これまでの紙媒体（郵送やファックス）から電子データによるPC上でのやり取りに間もなく変更される予定です。まさに隔世の感ですが、制度の劇的変化についていくのもまた大変です。

会長職にあつた令和4年度は、多忙を極めた職務に追われ、趣味のスキーもソフトボールの公認審判員も奈良の古寺巡礼もほとんどできずに悶々としていましたが、退任したこれからは晴れて趣味にも力を入れていきたいとわくわくしているところです。

最後に、成東高校の後輩の皆さんの各方面での大いなるご活躍を心から祈念しております。

喜 怒 愛 楽

生き生きと しなやかに

昭和四十二年四月、ゆるやかな坂を上り校門を入るとすぐ右手に古色蒼然とした図書館があった。さすが成東高校だと思つた。その年の九月、新校舎が完成。

二・三年のときの担任は戸井策次先生。先生の文学への篤い情熱に感化されてか大学は文学部に進み、教員となつて定年まで勤めた。

退職後は今までできなかったことを思いきりやろうと、シニア劇団に所属、千葉市文化センターや千葉県文化会館での公演、新しい仲間もできて充実した三年間を過ごした。

その後、山武市家庭教育委員として四年間家庭教育や相談活動をした。



さくまけいこ 佐久間啓子 (高22回)

現在は、千葉県退職公務員連盟山武支部の事務局長、また今年から地区の民生委員として微力ながら務めている。

また、朗読ボランティア・県の生涯大学校園芸コース・書道教室・絵本の読み聞かせや素話の会・地区活動なども楽しんでる。

古稀を過ぎ、やや耳が遠くなり視力も弱ってきたが、まだまだ好奇心は残っている。健康に気をつけこれからの日々を穏やかに過ごしていきたい。

人権擁護委員の 活動と生きがい

緑風の小学校の校庭に、今年も赤、白、ピンクの芍薬が開花しています。

人権擁護委員は、芍薬(「人権の花」)を児童と一緒に育て、命の尊さを学び、優しさ、思いやりの心を身につけてほしいと願います。

人権擁護委員は、市町村長の推薦によって、法務大臣から委嘱されます。役割は、憲法が国民に保障している基本的人権を擁護する活動、例えば、人権に関する啓発・相談、及び法務局の職員と協力して行う人権侵犯事件の調査・救済などです。

私は人権擁護委員を委嘱されて十二年になります。小学四年生と行う人権教室(啓発活動)は、児童が緊張した面持ちで講



お辰雄 人権擁護委員活動12年 (高19回)

師を見る澄んだ目、真剣に取り組む姿勢にいつも心を打たれ、清々しい気持ちとなります。

人権相談には、様々な悩みや問題が寄せられます。相談者に寄り添って解決などを助言し、時には相談者に内在する解決方法を引き出します。他方、どのような助言が良いのか、困惑することも往々にしてあります。

これらの活動でたくさんの方の感動、喜びを体感し、そして多くの方との親交も生まれました。今、この活動に生きがいを感じながら日々を過ごしています。

文化・教育発信の 寺院を实践

九十九里町小関こせきに1947
(昭和22)年6月18日、妙覚
寺の長男として生まれる。

成東高校第18回生。埼玉大
学理工学部応用化学科に進
学。1970年代の学園紛争
に明け暮れる大学生活を送
り、ろくに勉強せずに卒業。
東京の私立玉川学園の中学部
に就職。学園創立者小原國芳
氏に全人教育を学んだ。



こうの たくみ (時巧) 東頭山妙覚寺住職 (高18回)

1976 (昭和51)年に千葉
県立高校の化学の教員に採用さ
れた。1994 (平成6)年、

46歳で千葉工業高校を最後に退
職。京都の顕本法華宗総本山妙

満寺にて1年半修行の後、妙覚
寺に入山。1998 (平成10)年、

妙覚寺第37世に就任。

旧小関村には江戸時代後期、

江戸から隠棲した著名な文人墨

客が滞在していた。この文人達

は、この地方の子弟の教育に当

たって人材の育成を果たした。

妙覚寺には西山翰海を初めとす

る文人達の墓碑が建立されてい

る。

お寺には元々、文化や教育を

発信する役割があったことに気

付き、本堂などの施設を一般の

方に開放する事にした。コロナ

禍前までは、年1回のクラシッ

クコンサート、年4回のジャズ

コンサート、週1回の歌う会、

陶芸教室、毎週の写経の会、読

経会など幅広く人々に開放して

きた。コロナ禍が消えた後は直

ちに再開したい。

また、年に数回九十九里浜か

ら汲み上げた海水で平窯を使っ

て塩作りをしている。昨年から

社会活動の一環として「NPO

法人コネクト99」を創設した。

もう少し広く九十九里地域を活

性化すべく、また、高齢者を孤

独にさせないデジタル事業など

様々な方策を会員と共に展開し

始めた。

妙覚寺は、有名な測量家伊能

忠敬の生地に隣接し生家小関家

の菩提寺でもある。それに因ん

で妙覚寺の坊を開放し、伊能忠

敬の幼名を冠した「三治郎文庫」

を開設した。伊能忠敬の幼少時

代をより深く発掘すべくその関

係文献や資料を収集し始めた。

更に九十九里地域の郷土文化、

江戸期の大地曳綱主から生まれ

た「いわし文化」・明治末期以

降の海水浴の隆盛から生まれた

「海水浴文化」等を発掘、後世

に伝えるべく郷土関係資料の蒐

集・保存に努める活動を「九十九

里郷土研究会」の会員と運営を

始めている。

これまで20年以上、民生委員

として地域の福祉に携わり、更

に犯罪者の更正の為に保護司活

動に従事している。

また、寺院関係では顕本法華

宗総本山妙満寺の宗務総長に指

名され、5年間宗政に取り組ん

でいる。

※河野氏は今春、永年の保護司

として地域社会に貢献された

ことが評価され、瑞宝双光章

が授与されました。

在校生の活躍と新たな取組

九十九回窓会の皆様、昨年度に引き続き、今年度もよろしくお願いたします。

さて、進学状況ですが、昨年度は国公立大学合格者が過去五十年間で最高となる四十九人を数えましました。近年は、有名私立大学合格者の増加と合わせて、進学実績は向上しています。

部活動では、家庭学習時間に配慮して、文武両道が可能な体制を確保しており、今年度新入生の加入率は九十%を超えるなど、近年加入率は上昇しています。また、昨年度は、陸上部が関東大会とインターハイに出場し、ホッケー部、山岳部、空手道部が関東大会に出場しました。文化部では、吹奏楽部が関東大会と全国大会に出場し、書道部は、県知事賞を受賞しました。

今年度は、男子バレー部が四十二年ぶりに関東大会に出場したほか、陸上部は関東大会とインターハイに

山岳部と水泳同好会は関東大会に出場します。卓球部は県大会で男女団体ベスト八に入賞しました。その他の運動部もすべて県大会に出場するなど、活躍しています。

生徒募集では、今年度は、近隣中学生や地域の皆様に本校の魅力を理解していただけるよう、学校ホームページなどによる情報発信を活性化しています。また、今年度の生徒募集では、普通科と理数科を分けて募集する「くくり募集」を行います。くくり募集により、一年では全員同じ教科を学習し、二年から理系と文系に分かれ、理数科は理系選抜クラスとする方向で準備中です。さらに、令和六年度入学生から、新たに教員基礎コースを設置することが決定しております。

結びに、同窓会の皆様におかれましては、ご家族やご親戚などの中学生に対し、本校進学への働きかけや後押しをよろしくお願いたします。



校長 伊藤 政利

令和5年度入試 合格者数

大学名	現	浪
室蘭工大	1	
弘前大		1
東北大		1
茨城大	11	2
筑波大	1	1
宇都宮大	1	1
埼玉大	1	
千葉大	18	1
東京海洋大		1
東京外大	1	
信州大	1	1
奈良女子大	1	
はこだて未来大	1	
会津大	1	1
高崎経大	3	
千葉保健医療大	2	
長岡造形大	1	
都留文科大	3	1
長野県立大	1	
諏訪東京理大	1	
国公立大学合計	49	11

大学名	現	浪
酪農学園大	1	
流通経済大	1	
国際医療福祉大	9	1
埼玉医大	1	
埼玉工大	1	
東京国際大		1
獨協大	1	1
文教大	8	
明海大	2	
川村学園女子大	1	
神田外語大	12	
敬愛大	12	
国際武道大		1
淑徳大	24	
城西国際大	8	1

大学名	現	浪
聖徳大	3	
千葉経大	2	
千葉工大	220	15
千葉商大	16	
中央学院大	3	
帝京平成大	2	
東京情報大	8	
秀明大	9	1
麗澤大	4	
和洋女子大	6	
千葉科学大	5	
了徳寺大	3	
植草学園大	2	
青山学院大	11	2
亜細亜大	7	
桜美林大	1	
大妻女子大	5	
学習院大	3	4
北里大	6	
共立女子大	5	
杏林大	1	
慶応大	1	
工学院大	1	1
国学院大	14	3
国士舘大	1	
駒澤大	15	
芝浦工大	7	3
順天堂大	5	
昭和女子大	5	1
女子栄養大	2	
成蹊大	9	
成城大	7	1
聖心女子大	1	
専修大	11	
創価大	3	
大正大	7	
大東文化大	9	
拓殖大	1	

大学名	現	浪
玉川大	5	
中央大	16	5
津田塾大		1
帝京大	7	
東海大	14	3
東京音大	2	
東京家政大	4	
東京経大	1	
東京工科大	3	
東京女子大	1	
東京電機大	4	2
東京農大	10	
東京理大	9	2
東邦大	28	3
東洋大	40	4
二松学舎大	6	
日本大	74	12
日本獣医生命科学大	1	
日赤看護大	1	
日本体育大		1
文化学園大	1	
法政大	25	1
星薬大	1	
武蔵大	2	
東京都市大	2	1
武蔵野音大	1	
武蔵野大	22	
明治大	16	7
明治学院大	13	
明星大	6	
立教大	12	1
立正大	16	
早稲田大	3	
学習院女子大	2	
東京医療保健大	11	
東京未来大	1	
麻布大	2	
神奈川大	6	

大学名	現	浪
神奈川工科大	5	
関東学院大	4	1
産業能率大	1	
湘南工科大	1	1
昭和音大	1	
東京工芸大		1
東洋英和女学大	1	
横浜薬大	1	
帝京科学大	2	
豊田工大	1	
京都産業大	1	
京都芸術大	1	
立命館大	1	
龍谷大	2	
近畿大	1	
岡山理大	1	
私立大学合計	894	82

短期大学	現	浪
大妻女大短大部	1	
女子栄養大短大部	1	
日本大短大部	7	
上智大短大部	1	

専門学校	現	浪
北原学院千葉歯科衛生専門学校	1	
藤リハビリテーション学院	2	
東洋理容美容専門学校	1	
代々木アニメーション学院	2	
日本工学院専門学校	1	
国際理工カレッジ	1	
東京山手調理師専門学校	1	

その他の進路	現
浪人	16
家事手傭い	2

(令和5年4月4日現在)



9月スポーツ大会



11月修学旅行



6月文化祭

動き出した学校生活。 この一瞬は宝物。

部活動の活躍

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会 2年 池田 空矢
ハンマー投げ 予選2組15位 51m43cm

書道部

千葉県小・中・高校席書大会 知事賞 1年 中島 真子

関東大会出場

陸上競技部 山岳部 空手道部 吹奏楽部 写真部



9月スポーツ大会



2月ロードレース大会



6月文化祭（書道部）

編集後記

会報第十三号をお届け致します。発行が大幅に遅れましたことをお詫び致します。今号も新型コロナウイルス特別号とも言うべき形となりました。

コロナ禍と気候変動の中で入学、卒業をされた皆さんは、ベトナム戦争と学生運動の中で卒業した世代と同様に特異な経験をしています。これは貴重なことと言えます。

今号から紙面構成を一部変更しました。ご一読下さい。

編集責任者

齊藤 功 (高22回)

編集委員

伊藤 清美 (高32回)
戸井 洋文 (高32回)
佐久間啓子 (高22回)
井野 克哉 (理40回)

卒業者数 30,949名
旧制中学卒 4,620名
併設中学卒 545名

生徒数 772名
男子 443名
女子 329名
クラス数 20クラス
(令和5年4月1日現在)

あの人はどこ!?

- ・所在不明の方がたくさんおります。
- ・情報をお寄せください。

連絡カード

受付日	令和 年 月 日
記入者	

※逝去者の情報は「逝去者カード」にご記入ください。

連絡者	本人	本人との続柄:	
	家族 (氏名:)		
	その他 (氏名:)	昭和・平成・令和	年卒業)

【異動 (変更・訂正) 内容】

※お判りでしたらご記入ください。※振込用紙に記載の番号です。

整理番号	
卒業年(回)	昭和・平成・令和 年 (回) / 科 組
氏名	姓 名 旧姓 (在学時姓)
住所	〒 _____ TEL _____

伝言板

次回の会報よりおたよりとして掲載させていただきます。掲載されたくない場合 →

逝去者カード

受付日	令和 年 月 日
記入者	

※下記の【ご記入にあたっての注意事項】をご覧ください。

連絡者	家族 (氏名:)	本人との続柄:	
	その他 (氏名:)	昭和・平成・令和	年卒業)

【お亡くなりになられた方の情報】

※お判りでしたらご記入ください。※振込用紙に記載の番号です。

整理番号	
卒業年(回)	昭和・平成・令和 年 (回) / 科 組
氏名	姓 名 旧姓 (在学時姓)
逝去年月日	昭和・平成・令和 年 月 日 逝去
備考欄	

【ご記入にあたっての注意事項】

- ・当カードをもって逝去者として管理いたします。
- ・「告別式に参列・ご遺族からの連絡」など確実な情報のみをご記入ください。
- ・「〇さんから聞いた。」「亡くなったようだ。」など曖昧なご連絡はお控えください。
- ・逝去年月日はお判りになる範囲でご記入ください。

この向きに入れてください

